



2021年7月26日

各 位

会社名 日本曹達株式会社
代表者名 代表取締役社長 阿賀 英司
(コード番号 4041 東証第一部)
問合せ先 総務部長 見邊 伸樹
(TEL 03-3245-6053)

医薬品添加剤「NISSO HPC」増産設備の竣工のお知らせ

当社は、医薬品添加剤「NISSO HPC」の増産設備を竣工し、7月26日より製品出荷を開始いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件の目的

「NISSO HPC」は、医薬品添加剤、とりわけ固形製剤の結合剤として使用されており、錠剤の硬度を高める結合力や、溶けにくい有効成分の溶解性改善、徐々に有効成分を放出する徐放性など、高い機能を有しております。

医薬品の市場は世界的に拡大傾向にあり、医薬品生産量の堅調な伸びに伴い、「NISSO HPC」の販売は着実に増加しております。また、当社の独自銘柄である「NISSO HPC-SSL SFP（超微粒子品）」は、極めて高い圧縮成形性により高い評価を得ており、医薬用途のみならず健康食品錠剤などの食品分野における採用も拡大しております。

上記の旺盛な需要に対応するとともに、安定的な供給体制を確保するために、当社は2018年12月に「NISSO HPC」製造設備の生産能力増強を決定し、今般予定通りに増産設備を竣工いたしました。

今般の生産能力増強により、販売が拡大している銘柄の増産体制が整備されるとともに、その他の銘柄につきましても効率的な生産が可能になります。あわせて、国内外のお客様より評価を得ている、「高度な品質管理」と「グローバルテクニカルサービス」のさらなる強化により、「NISSO HPC」の中長期的な販売拡大に取り組みます。

当社グループは、長期経営ビジョン「かがくで、かがやく。2030」、ならびに3ヵ年の中期経営計画「かがくで、かがやく。Stage I」（2021年3月期～2023年3月期）を策定し、強固な事業基盤の構築に向けた取り組みを進めております。同計画では、高付加価値事業の拡大に向けたリソース投入を強化し、また徹底した経営の効率化を進めることで、事業環境の変化に強く、安定した収益を生み出す事業ポートフォリオへ変革することとしており、今般の生産能力増強はこれらの取り組みの一環として、当社グループのさらなる企業価値の向上に貢献するものです。



「NISSO HPC」増産設備

2. 生産能力増強の概要

- 1) 対象工場 : 二本木工場 (新潟県上越市)
- 2) 増強内容 : 30%の生産能力増強
- 3) 投資金額 : 約 50 億円

3. 業績への影響

本件の業績への影響につきましては、2021年5月11日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想に織り込み済みです。

以 上